

全木連時報

11月25日(金曜日)
(第644号)(毎月25日発行)
平成23年(2011年)

発行所
社団法人 **全国木材組合連合会**
尾 蘭 春 雄
東京都千代田区永田町2-4-3 ☎(3580)3215
URL http://www.zenmoku.jp



木材産業シンボルマーク

昭和33年12月15日第三種郵便物認可

定価 年500円

【全木連時報】の購読料は年会費に含まれています。

全木連 全木協連 理事会・臨時総会開く

役員補充など承認決定

全木連、全木協連は、十一月十七日、東京木材会館で、それぞれ理事会、臨時総会を開き、役員補充、平成二十三年度補正予算など所定の議案をすべて承認・決定したほか、最近の情勢などを報告した。また、木退共は理事会を開き、法人移行のスケジュール等を承認した。

全木連理事会・臨時総会

全木連の会議は午後一時から開始。冒頭、この秋の叙勲・褒章受章者を事務局より紹介し、出席者全員の拍手で祝福した。次いで、並木会長が概要次のとおり挨拶した。

「先に開催の木材産業振興大会は、盛岡市で七百名に及ぶ会員、関係者の参加を得て開催できた。大震災後のなかで準備、大会運営



おめでとーございます

栄えの叙勲(23年秋)

- 旭日小綬章 阪田良之助(滋賀)
 - 旭日小綬章 杉山 陽一(静岡)
 - 旭日小綬章 吉田 繁(東京)
 - 旭日双光章 大之木伸一郎(広島)
 - 旭日双光章 嶋田 陽弘(奈良)
- (以上、農林水産省関係受賞)
- 旭日小綬章 児玉 文雄(熊本)
- 旭日双光章 中西 基(静岡)
- (以上、他省庁関係受賞)
- (敬称略)

に取組んでいただいた関係者の努力に感謝。また、参加者からも盛岡での開催を評価、来賓の林野庁長官、岩手県知事、盛岡市長からも評価をいただいた。業界の思いを広く訴えることができたのではないかと。わが国の経済は、回復が足踏み状態で、引き続き出口が見えないというのが実情。このような中で、住宅着工動向は依然と厳しい状況にある。政府の第三次補正予算の速やかな実行を期待する。公共建築物木材利用促進制度や森林・林業再生プラン等を実効性あるものにしていくには木材業界の積極的な取組が重要。PPP問題については、いろいろな議論がある中で国産材振興の立場から

- 目次
- 一面 全木連・全木協連の理事会臨時総会を開き役員補充などを承認決定 栄えの叙勲
- 二面 木退共理事会
- 三面 農林水産祭で木材PR 愛媛県産材のトップセールス
- 四面 景況調査

慎重な対応を求めていく。諸課題について皆様方と連携しながら動きを注視しつつ所要活動を実施する。」

その後、並木会長を議長として議事が進められた。

まず、公益法人改革三法に基づく「社団法人全国木材組合連合会」の法人移行に付いて、今後のスケジュール、定款変更の方針、規程の改正案など現在の事務局案を承認決定した。

次いで、平成二十三年度の予算を組み替えることについて原案のとおり承認決定した。

次に、役員補充を行い、本年五月の総会以降、各会団の役員異動に伴い、次のとおり決定した(敬称略、カッコ内は前任者・所属)

▼理事 亀山征弘(高橋義宣・宮城)、西村亮彦(山田幸志・富山)、谷崎信雄(岡本伸三・福井)、松野正和(野村昌弘・兵庫)、佐々木隆雄(山田喜三郎・徳島)、児玉文雄(大石駿四郎・熊本)。

▼副会長 横田欽一郎(大石駿四郎・九州)

平成24年 全国会議等の日程(予定)

月日	曜日	会 議 名	場 所
2月16日	木	全木連、全木協連合同常勤役員・事務局長等会議	木材会館
3月23日	金	全木連、全木協連、木退共、全木政連合同正副会長・支部長会議 全木連 理事会・通常総会 全木協連 理事会・臨時総会 全木政連、常任委員会	木材会館
5月9日	水	全木連、全木協連、木退共、全木政連合同正副会長・支部長会議 全木連 理事会・通常総会 全木協連 理事会・通常総会 全木連、全木協連合同懇談会	メルパルク東京
5月10日	木	全木政連 通常総会 木退共 理事会 通常総会 全木検 理事会・通常総会	メルパルク東京
7月下旬又は 8月上旬		全木連総務委員会、全木協連表彰選考委員会 林野庁による木材関係施策説明等会議	
9月上旬 又は中旬		全木連、全木協連合同常勤役員・事務局長等会議	木材会館(予定)
10月17日	水	第47回 全国木材産業振興大会	宮崎市 宮崎観光ホテル (東館)
11月17日	水	全木連、全木協連、全木政連合同正副会長・支部長会議 全木連 理事会・臨時総会 全木協連 理事会・臨時総会 木退共 理事会 全木政連 常任委員会	木材会館

全木協連理事会・臨時総会

このほか、以下の十一項目の報告を行い、会議を終了した。

①平成二十三年第三次補正予算(木材業界関連)の概要②平成二十四年度関連予算概算要求概要③平成二十四年度林業・木材産業関係税制改正要望の状況④森林吸収源対策のための財源確保⑤東電原発事故に伴う放射性物質と木材

全木協連の会議は、全木連などに引き続き開始した。

まず、吉条会長が挨拶。

「震災被災地では力強い動きが起きている。業界あげての支援・取組が重要。わが国の景気は円

高、欧米経済の停滞などから、これまでの動きにかけりが見られる。住宅着工も減少に転じ、先行きについて懸念される。政府の経済対策については、第三次補正予算が編成され、林野庁関係では森林整

備加速化基金の延長による復興対策、国土交通省関係では住宅エコポイントの再開が主な内容。早期の効果を期待する。全木連と連携し、効果的な運動を展開していきたい。」と述べた。

その後、吉条会長が議長となり、議事を進行した。

まず、総会事項として、平成二十三年度補正予算を事務局の報告を受けて承認決定した。役員補充では、五月の総会以降の会員団体の役員異動に伴い、次のとおり決定した。(敬称略、カッコ内は前任者・所属)。

▼理事 亀山征弘(高橋義宣・宮城)、西村亮彦(山田幸志・富山)、谷崎信雄(岡本伸三・福井)、松野

正和(野村昌弘・兵庫)、佐々木隆雄(山田喜三郎・徳島)、児玉文雄(大石駿四郎・熊本)。

理事会事項では、平成二十三年度中間事業報告、中型グループ共済保険加入促進について審議し、それぞれ原案のとおり承認決定した。

この中でも特に、中型グループ共済保険加入促進については、事務局より詳細に説明し、協力依頼した。

役員の選任については、次のとおり決定した。

▼副会長 亀山征弘(高橋義宣・東北地区)、西村亮彦(山田幸志・北陸東海地区)、内田幹雄(横田欽一郎・九州地区)

このほか、①平成二十三年度全木協連補助事業②第四十七回全国木材産業振興大会の開催③平成二十四年全国会議等の日程について報告し、会議を終了した。

木退共理事会

法人移行について審議

木退共は、理事会を開き、社団法人の木材産業退職金共済会は、公益法人改革三法により、一般社団法人の移行手続を行うこととするが、平成二十四年五月を目途に準備する。そのために必要な定款変更の内容について審議し原案どおり決定した。

企業経営に安心を提供します

全木連グループの各種保障制度

おかげさまで35年

中型グループ

などの備えに ケガ・病氣入院	従業員のために 中型グループ	総合賠償 補償制度	第三者への事故対策に
	経営者のために 総合保障プラン	任意労災 保障制度	労働災害への対策に
		木退共	従業員の退職金の準備に

全国木材協同組合連合会

〒100-0014 東京都千代田区永田町2-4-3
TEL 03-3580-3215(代)

農林水産省と(財)日本農林漁業振興会主催の平成二十三年度(第五十回)農林水産祭「実りのフェスティバル」が十一月四日及び五日の二日間、東京都江東区有明の東京国際展示場(東京ビッグサイト)で開催された。天候にも恵まれて多くの入場者で賑わった。

農林水産省と(財)日本農林漁業振興会主催の平成二十三年度(第五十回)農林水産祭「実りのフェスティバル」が十一月四日及び五日の二日間、東京都江東区有明の東京国際展示場(東京ビッグサイト)で開催された。天候にも恵まれて多くの入場者で賑わった。



農林水産祭は、国民共に収穫を喜び、農林水産業に対する理解と関心を高め、農林水産物の消費拡大を図るため、都道府県、中央・地方の農林水産団体が協力して毎年十一月に開催しているもの。会場では、政府特別展のほか、

農林水産団体の展示・即売と、都道府県による郷土農林水産物の展示・即売等が行われた。特に今年度は東日本大震災の被災県の特設ブースが設けられた。

農林水産団体の展示・即売と、都道府県による郷土農林水産物の展示・即売等が行われた。特に今年度は東日本大震災の被災県の特設ブースが設けられた。

このフェスティバルの林産部門として全木連が世話役となり、木材利用推進のPRの場所として、各種のパネルを配布するとともに、関係団体及び関係機関の協力を得て、次の催し物を行った。

参加団体(十二団体)

(社)全国木材組合連合会、全国森林組合連合会、全国天然木化粧合板工業協同組合連合会、全国木材



防虫JAS協議会、全国木造住宅機械プレカット協会、(財)日本合板検査会、日本合板工業組合連合会、日本集成材工業協同組合、(財)日本住宅・木材技術センター、日本木材防腐工業組合、NPO法人活木活木(いきいき)森ネットワーク

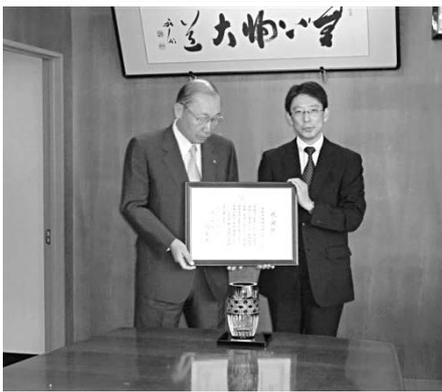
協力機関

日本日曜大工クラブ。

催しの内容

「日曜大工教室」
日曜大工クラブの会員が指導にあたり、踏み台、椅子等あらかじめキット加工したものを製作した。無料とあって参加希望者が多く、人数制限をするほどの盛況であった。

商工中金から感謝状 全木協連創立五十年に対して



全木協連は昭和三十六年の創立から今年で五十年となる。

これに対して、商工中金から感謝状が贈られた。多年にわたる共同事業の実施により組合員、地域経済の発展に尽力したことを通じ、商工中金の使命達成に貢献があったというもの。

全木協連は、中小企業金融の円滑化の重要性をふまえ、今後とも変わらず事業実行にあたる。

愛媛県産材のトップセールス

JASで品質保証

愛媛県と愛媛県産材製品市場開拓協議会は、十一月十五日に東京の木材会館で「愛媛県産材フェア」を開催した。中村愛媛県知事自らが参加してのトップセールスである。

また、見本展示も行われた。愛媛県はヒノキの素材生産量が全国一位であるなど豊富な森林資源を背景に、品質・性能の確かな県産材の販売体制を図っている。国産材時代を感じさせる催しであった。

当日は、県知事のスピーチに続いて林野庁長官の祝辞があり、その後、県産材のセールスポイントが「安定供給」、「品質管理」、「多様な製品」の三つのキーワードで紹介された。品質管理については全

てJAS製品。同協議会加盟の十二社の紹介があり、レセプションをはさみ、商談会が行われた。



景況調査=全木協

23年10月分集計表 ()内は実数

〔流通部門〕

モニター数85 回答数51 回収率60%

当月の状況

販売量	増加43% (22)	変わらず41% (21)	減少16% (8)
仕入量	増加37% (19)	変わらず47% (24)	減少16% (8)
販売価格	上昇 4% (2)	変わらず90% (46)	下降 6% (3)
仕入価格	上昇12% (6)	変わらず72% (37)	下降16% (8)

来月の見通し

販売量	増加31% (16)	変わらず47% (24)	減少22% (11)
仕入量	増加29% (15)	変わらず49% (25)	減少22% (11)
販売価格	上昇 6% (3)	変わらず78% (40)	下降16% (8)
仕入価格	上昇10% (5)	変わらず72% (37)	下降18% (9)

3か月後相場予想	強 含 み	保ち合い	弱 含 み
米 材	9% (4)	78% (35)	13% (6)
南 洋 材	10% (4)	83% (34)	7% (3)
北 洋 材	7% (3)	79% (35)	14% (6)
国 産 材	4% (2)	79% (38)	17% (8)
建 材	12% (5)	64% (27)	24% (10)

乾燥材取引の頻度	増 加	変 わ ら ず	減 少
	21% (10)	79% (38)	0% (0)

〔製造部門〕

モニター数108 回答数60 回収率56%

当月の状況

販売量	増加29% (17)	変わらず40% (24)	減少31% (18)
仕入量	増加31% (18)	変わらず40% (24)	減少29% (17)
販売価格	上昇 2% (1)	変わらず88% (52)	下降10% (6)
仕入価格	上昇27% (16)	変わらず66% (39)	下降 7% (4)

来月の見通し

販売量	増加15% (9)	変わらず70% (41)	減少15% (9)
仕入量	増加22% (13)	変わらず61% (36)	減少17% (10)
販売価格	上昇 2% (1)	変わらず88% (52)	下降10% (6)
仕入価格	上昇14% (8)	変わらず72% (43)	下降14% (8)

3か月後相場予想	強 含 み	保ち合い	弱 含 み
米 材	16% (4)	72% (18)	12% (3)
南 洋 材	26% (5)	58% (11)	16% (3)
北 洋 材	17% (3)	61% (11)	22% (4)
国 産 材	18% (9)	66% (32)	16% (8)

プレカットの動向

受注後、加工までの待ち時間	1ヵ月以内	1ヵ月	1ヵ月以上
	62% (8)	30% (4)	8% (1)

木材業景況調査の概要 (十月分)

十月は、販売量、仕入量については、流通部門では前月より増加したが、製造部門では前月と変わらなかった。また、販売価格については、流通・製造部門とも変わらなかったが、仕入価格については、流通部門では変わらず、製造部門では上昇した。

十一月は、販売量、仕入量については、流通・製造部門とも前月と変わらずの見通しである。また、販売価格、仕入価格については、流通・製造部門とも変わらずの見通しである。

3ヵ月後の相場予想については、南洋材は、流通部門では保ち合い予想であるが、製造部門では強含み予想である。米材、北洋材、国産材については、流通・製造部門とも保ち合い予想である。また、建材は弱含み予想である。

流通部門における「乾燥材取引の頻度」については、乾燥材の一定の取引は定着していると見られる。プレカット工場の操業状況は変わらない。

木材産業界独自の
退職金共済制度

ご加入のおすすめ

(社)木材産業退職金共済会

『東日本大震災復旧緊急保証』
の受付が始まりました。

この度の東日本大震災により被害を受けられた皆さまに、心からお見舞い申し上げます。一日も早い復旧と皆さまのご健康を心からお祈り申し上げます。

震災による復旧のための緊急保証として、他の資金とは別に基金から100%保証が受けられます。

- ◎ 地震・津波により直接罹災された方の復旧に必要な運転資金・設備資金
 - ◎ 主要販売先などの罹災により間接的に被害を受けた方に係る資金繰り安定化のために必要な運転資金
 - ◎ 震災復興に係る仮設住宅など資材供給の円滑化のために必要な運転資金・設備資金
- 詳しくは基金までお尋ね下さい

林業・木材産業事業者の方々に必要な事業資金の債務保証を行います

独立行政法人 農林漁業信用基金

〒101-8506 東京都千代田区内神田1丁目1番12号 (コービル11階)
TEL: 03(3294)5585 FAX: 03(3294)5595 URL: <http://www.affcf.com>

